



第一回百年大計

あなたのよりどころサポーター 永原 舞依

【自己紹介】

- ・名前： 永原 舞依
- ・年齢： 30歳
- ・職業： 会社員
(株式会社ビズリーチ 総合企画部)
- ・私ってこんな人



人生の3分の2を占めるおよそ20年間、自分の生い立ちや家族の問題でもっぱら苦しんできたけど、理解者も相談できる人もいない！
一人「孤独」を感じ続けながら、自分の人生に向き合ってきました。

そこで身につけた特技があります。
実社会で仮面を被り、「何も問題がない強い自分・普通の人」を演じること。

仮面の下に隠してきた、心の葛藤や孤独の経験は、本当に隠し続けることが正しいのか？
だんだんと違和感を感じ始めていました。私の人生の意味ってなんだったのか？

そこで出会った立志塾。そして真志命。
隠すのではなく、人のために役立てたい。それが今の私の目標であり夢です。

～仕事はこんなことやってきました～

- ・自社の中途採用担当（リクルーター）
- ・法人のお客様の中途採用のお手伝い

▼事例： 中途採用経験のない企業様での採用成功を作るまでのお手伝い。

【課題】



【取り組んだこと】



↑ チームメンバーとの実際のやりとり

【結果】



- ・中途採用ノウハウが全くない
- ・候補者様との相互理解が不十分で、自社の魅力も十分に伝えられていない
- ・内定を出しても辞退が続く

- ・自社の持ちうる限りのノウハウから、お客様の状況を分析、考えられる課題を全部洗い出し、施策を考えた
- ・面談に同席し、面談で相互理解、魅力訴求の質が高まる方法をレクチャーした
- ・選考フローの変更も提案し改善 などなど・・・

- ・3ヶ月で1名のみの採用だった状態から、翌3ヶ月で5名まで改善（内定辞退もなくなる）
- ・お客様から喜んでいただき、ご契約を継続したいと言っていただく
- ・社内でおお客様の課題に向き合った良い事例として、表彰される

～真志命～

誰にも相談できない孤独をなくすこと

苦しかった理由

人生に心の拠り所を見つけることができなかったから。





自分の人生のにとって大きな苦しみでもあり、
そして大きなよりどころでもあった

私のルーツ&よりどころ



- ・個人の内省での気づきと葛藤との格闘
- ・コーチングでのトラウマからの解放
- ・過去の傷と向き合う



孤独をなくす = 「よりどころ」を世の中に増やす



■理念

与えることから、誰かの拠り所になる

■行動指針

与え・与えられることを体現する

■100年後の未来

孤独という概念が薄くなっていく

＝社会自体が、どんな人からも学び、気づきあえるよりどころになっていく。

そのためにまずは、

自分の人生まるごと

「等身大の誰かの拠り所」にしよう。

■ ブログ

ありのままの自分（過去の傷を隠すために仮面をつけている私）
を体験談として孤独に生きていた頃からどのように仮面をつけて生き、
どのように傷を癒し今に至るのか、等身大の自己発信。
→自分以外にもそんな人いるんだ。とよりどころになれば。

■ ボランティア

児童養護施設の卒業生のメンターを検討中。
キャリアについての相談から、人生についての相談まで、
自分に何ができるのかの学びと経験。

よりどころサポーターへの
第一歩を踏み出します

